

学籍番号 (4ケタ) : 3 _ _ _

氏名 : _____

研究論文 評価ルーブリック (2を基準とする)

項目	4	3	2	1
Abstract	目的, 手法, 結果, 考察を 適切に要約 し, 研究の全体像が 一目で把握 できるように示されている。	目的, 手法, 結果, 考察を 概ね適切に要約 し, 研究の全体像が 把握 できるように示されている。	目的, 手法, 結果, 考察を ある程度要約 し, 研究の全体像が およそ把握 できるように示されている。	目的, 手法, 結果, 考察の要約が 不十分 であり, 研究の全体像を 把握することが困難 である。
研究的・RQ	研究目的と関連づけて国内外の 先行研究の概説が多角的 に行われ, 仮説が 適切 に構成されている。	研究目的と関連づけて国内外の 先行研究の概説 が行われ, 仮説が 概ね適切 に構成されている。	研究目的と関連づけて国内の 先行研究の概説 が行われ, 仮説が ある程度適切 に構成されている。	研究目的と関連づけた国内の 先行研究の概説が不十分 であり, 仮説の構成や提示が 曖昧 である。
研究手法	結果に影響を与えると考えられる すべての情報が具体的に記述 されている。	結果に影響を与えると考えられる 情報が概ね記述 されている。	結果に影響を与えると考えられる 情報がある程度記述 されている。	結果に影響を与えると考えられる 情報がほとんど記述 されていない。
結果・考察	仮説の検証に必要な実験回数もデータ量も 適切 である。	仮説の検証に必要な実験回数もデータ量も 概ね適切 である。	仮説の検証に必要な実験回数もデータ量も ある程度適切 である。	仮説の検証に必要な実験回数もデータ量も 不十分 である。
結論・展望	研究目的がどこまで達成され, 仮説がどこまで検証されたかを, 結果に基づいて議論 している。	研究目的がどこまで達成され, 仮説がどこまで検証されたかを, 概ね結果に基づいて議論 している。	研究目的がどこまで達成され, 仮説がどこまで検証されたかを, ある程度結果に基づいて議論 している。	研究結果がどこまで到達され, 仮説がどこまで検証されたのかについての 議論が不足 している。

1 論文を読み, 各項目に「4~1」の**数字**を記入する。(2を基準とする)

論文作成者名	学籍番号	Abstract	目的・RQ	研究手法	結果・考察	結論・展望
1	3					
2	3					
3	3					
4	3					
5	3					
6	3					
7	3					
8	3					

2 記入後は, 上記評価を (事前に Classi で送信した) **Google フォーム**へ入力してください。